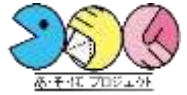




英 玖波中だより

No.9



大竹市立玖波中学校 令和6年8月28日

学校教育目標 『『なりたい自分』に向かって、挑戦する生徒の育成』

発行責任者 小田 大介 文責 藤川 健二

恒久平和を願って ～自分たちにできること～

8月6日(火)広島原爆の日に「第42回大竹市原爆死没者追悼・平和祈念式典」において、大竹市内の中学生を代表して本校3年生 町田 莉彩 さんが『広島に生まれ育った一人として平和の尊さを語り継ぎ、助け合いの輪を広げよう』という内容の平和宣言を發表しました。現在の社会状況や学校で学習したことを踏まえ、本当の平和について考えさせられる胸を打たれる内容でした。

「本当の平和」町田 莉彩



皆さんは今、世界で起こっている戦争を知っていますか。日本に住んでいる私たちは一見平和に過ごせているように見えます。しかし、世界に目を向けるとイスラエル軍のガザ地区への軍事侵攻やロシアによるウクライナ侵攻など世界の各地で戦争が起こっています。ニュースで現地の悲惨な状況を見聞きする度に、なぜ罪のない人々の命が奪われてしまうのかと、心が締め付けられます。私たちは一見平和に過ごせていても実はそうではないのです。

昨年5月にはG7広島サミットが行われ、平和についても議論されました。各国首脳の方々が原爆資料館を見学され、原爆が落とされた広島の実情をご覧になりました。しかし、サミットに参加しているアメリカ、イギリス、フランスは核兵器をもつ核保有国です。私は、核兵器をもつことが平和への近道だとは思いません。本当の平和を実現するために核兵器を手放すこと、つまりその勇気をもつことこそが平和への第一歩だと思うのです。

私は社会の歴史の授業でも第二次世界大戦について学習しました。私たちと同年代の子どもたちが戦争のために働かされ、多くの方が命を落とされたこと知りました。大切な人を失った人、家族と離れ離れになった人…、戦争は誰も幸せにしません。私たちにとって当たり前の日常も奪ってしまうのが戦争です。アメリカ軍が原子爆弾を投下してから、今年で七十九年です。当時の様子を伝えられる人も少なくなっています。同じ過ちを繰り返さないためにも、語り継がれてきた当時の状況、原爆の恐ろしさ、平和の尊さを広島に生まれ育った一人として語り継ぎ、助け合いの輪を広げていきます。“どんな人にも平等に明日が来る” 本当の平和の実現につながると信じて。



職場体験学習

8月21日(水)～23日(金)の3日間、大竹市内の中学校では職場体験学習が行われました。玖波中は、11の事業所で職場体験をさせていただきました。生徒は人生で初めて「働くこと」を、身をもって体験しました。実際に「働くこと」を通して貴重な学びがあったようです。

10月2日(水)には、「職場体験学習発表」を行い、2年生は職場体験で学んだことを事業所ごとにプレゼンを行います。

11事業所様には貴重な時間をいただき、深く感謝申し上げます。

- | | | |
|---------------------|-------------------------|-----------------|
| ①ゆうあいホーム デイサービスセンター | ②大竹消防本部 | ③セブンイレブン大竹インター店 |
| ④玖波保育所 | ⑤独立行政法人国立病院機構 広島西医療センター | |
| ⑥玖波公民館 | ⑦(株)小城六右衛門商店 | ⑧くば漁港協同組合 |
| ⑨(有)なか川 | ⑩(有)さかもと家電 | ⑪大竹市役所総務部 (順不同) |



元気な姿で会いましょう

もうすぐ2学期が始まります。夏休みの課題が終わらず、この1週間でラストスパートという人も多いのではないのでしょうか。また、長い休み明けで学校生活に不安を抱いている人もいることでしょう。前回の「玖波中だより」に掲載しましたが、私が課した夏休みの最大の課題は「2期の始業式でみんなに会う」です。何も不安に思うことはありません。何を置いても君たちの元気な姿を見たいのです。

一人で悩まないで ～相談窓口の紹介～

- いのちの電話・・・・・・・・・・・・・・・・0570-783556 0120-783556
- こころの健康相談統一ダイヤル・・・・・・・・0570-064556
- よりそいホットライン・・・・・・・・・・・・0120-279338
- あなたのいばしょチャット相談・・・・・・・・https://talkme.jp/

